

# ご近所の お医者さん

628

馬場記念病院ペガサス  
健診センター長

中川 友里さん

一堺市

## 元気で充実した生活を送る

私が勤務する馬場記念病院は、24時間365日、救急患者の完全受け入れを徹底し、地域から高い評価をいただいています。今年度も一次脳卒中センターコア施設の認定を受け、地域から安心と信頼を寄せられる病院を目指して取り組んでいます。現在はさらに、予防医学の中心である健

診にも力を入れています。

ここでは「胃がんリスク検診」のお話をします。

ヘリコバクター・ピロリという細菌(以下、ピロリ菌)は、胃がん発生の

原因として位置づけられており、陽性者の胃がん発生のリスクは陰性者の15倍との報告があります。このピロリ菌感染の有無や萎縮性胃炎の進行を検査する方法が胃がんリスク検診です。簡単に言うと、血液を用いた胃がんリス

## 胃がんリスク検診を

要です。胃がんリスク検診はあくまで「将来胃がんになる危険

ク判定で、ピロリ菌抗体検査でピロリ菌感染の有無、ペプシノーゲン検査で萎縮性胃炎を調べ、この2項目から将来、胃がんになりやすいかどうかを分類します。

一方で、感染の有無にかかわらず、喫煙しない▽塩辛い食べ物を取り過ぎない▽野菜・果物不足にならない▽など、生活習慣にも注意が必要です。元気で充実した生活を続けていくために、一度、胃がんリスク検診を受けて

胃炎が進行してピロリ菌が胃に住むことができなくなってしまった状態と考えてください。しかし、その場合でも内視鏡検査を受け、追加検査で陽性であればピロリ菌除菌療法を受けて、定期的に検査していくことが大切です。ピロリ菌の除菌で胃がんのリスクは30〜40%低下すると言われていますが、除菌後も定期的な内視鏡検査が必



結果はA B C Dの4段階で判定され、Aは正常でB C Dと順にリスクが高くなります。B、Cと判定された場合は定期的な内視鏡検査を受けて、ピロリ菌を排除することをお勧めします。Dは過去にピロリ菌に感染し、萎縮性

みませんか。